

# 花かがみ

HANA-KAGAMI

発行人／小笠原 肇 発行所／名古屋園芸株式会社  
〒460-0005 名古屋市中区東様2-18-13 tel.052-931-8701  
http://nagoyaengei.co.jp/

'24 6

名古屋園芸



Father's Dayアレンジメント「ヒマワリ」 ¥4,980 (税込)

ヒマワリは合わせる花によって、さまざまなデザインを表現できる花でもあります。赤い花を合わせれば、パワフルなイメージのデザインにすることもできます。バラを合わせれば明るい印象でありながら、高級感のある花ギフトにすることもできます。シンプルに1輪をラッピングしたスマートなスタイルもおすすです。ヒマワリは日差しが強くなる6月頃から出荷が多くなり、毎年この時期の店内を明るくつつみこんでくれます。日差しを浴びてキラキラと輝くヒマワリは、見るだけで元気になれそうです。

今年の父の日はヒマワリとともに、特別な日を彩ってみてはいかがでしょうか。

## ヒマワリで伝える父の日

今年の父の日は6月16日です。日ごろの感謝をヒマワリにのせて伝えてみてはいかがでしょうか。

ヒマワリは明るくて鮮やかな黄色が、まるで太陽のようなイメージの花です。和名は「向日葵」と表記し、英名ではsunflower (サンフラワー) と呼ばれ、どちらも太陽を連想する呼び名が付されています。空に向かって力強く咲く姿は、父の頼もしさと重なります。

そんなヒマワリが父の日の定番になったのは最近のことです。それは、ヒマワリが子供から大人まで広く知られた親しみのある花であること、そしてカジュアルな雰囲気でもプレゼントしたいというトレンドに反映されてのことのようです。さらに、ヒマワリの花言葉には「憧れ」「尊敬」「敬慕」の意が込められている点も大きく影響しているようです。



Father's Dayブーケ「ヒマワリ」 ¥4,980 (税込)



ハイビスカス 'デニムブルー' 画/植田由喜子

伊良湖岬のオリジナル品種で、一般的な赤や黄色などの色とは違い、アンティーク調のブルーグレーの色が特徴的なハイビスカスです。涼しげで優しい色合いですがとても強健で、秋遅くまで次々と花を咲かせてくれます。暑い夏にふと涼しさを感じさせてくれるような、今年おススメのハイビスカスです。

父の日は何を贈る？



### information.....

竹展開催します！

古来より日用品や工芸品、建材や食品としても人々の暮らしに寄り添ってきた竹。お正月の縁起物や観葉植物としても親しまれてきました。さまざまな変種があり、ユニークな形状や幹の色柄を楽しむことができます。名古屋園芸のバイヤーが集めた竹の銘品の数々を展示即売いたします。近年は栽培が極めて少ないため希少価値が高く、大変貴重な品種もご覧いただけるかもしれません。七夕に飾りたくなるような大きく立派なものも入荷します。

\*開催期間 6/8(土)~7/7(日)  
(展示会の日程は予告なく変更の場合がございます。ご了承くださいませ。)  
\*開催場所 1階正面玄関前



## 花の博物館 第341回

砂鉢生花伝 前後編合せ三冊

岡部景忠(宣庵)著 安永四年刊(一七七五) 後編 天明五年刊(一七八五)

小笠原左衛門尉亮軒

江戸時代中期から後期に移る頃、生け花界は池坊中心から抜け出し、いろいろな流派が関東以西に発生し、それぞれ流派名を名乗り、花形図が刊行された。本書もそうした類書の一書と考えられる。  
しかし序や図を見るに浅い広口の器に石を置き、花を立て、その足基を隠すように白砂を敷き詰めて完成させる。この方法は池坊に「砂の物」として、江戸初期の花形図にも見えるも、他流ではあまり見かけたことはない。  
さらに国書総目録を見るに「砂鉢生花伝」一冊のみ記載があり、後編二冊の記載なく、ある種の珍本とも考えられる。一応生け花に属するも鉢植えに近い造型で、同時期に流行し始めた鉢植(園芸)を意識したとも思われる。何はともあれ、図に手彩色があるのは後編である。「刊本花道書年表」によれば、後編二冊は神宮文庫にのみ蔵するとある。

## ハイビスカスをたのしもう

夏の代表的な花『ハイビスカス』の季節がやってきます。販売のピークは真夏ではなく6月で、サイズ・花色・花形も選ぶのに迷うくらい店頭に並びます。ハイビスカスの原種もお目見えします。

暑さのピークを迎える8月にたくさん花を咲かせるイメージが強いと思いますが、最近は様子が変わりました。近年の名古屋の暑さには少々夏バテをしてしまいます…。実は一番暑い8月には花がお休みをし、35℃を超えると花数が少なくなってしまいます。しかし涼しくなる9月~10月にまた元気に花を咲かせ、場所によっては11月まで繰り返し花を咲かせ続けます。6月~11月までと、かなり長い期間で楽しむことができます。

花を長く楽しむポイント3つだけ覚えておきましょう。難しく考えずポイントだけ押さえておけば育てたことのない方もしっかり楽しむことができます。

\*ポイント1 鉢増しをしよう。2回りくらい大きいサイズの鉢に、そつと植え替えをします。土が増えることによって根の張りがよくなり水やりも楽になります。

\*ポイント2 肥料をあげよう。粒の肥料を毎月1回、10月まであげましょう。ハイビスカスは肥料が大好きです。

\*ポイント3 7月後半から8月いっぱい半日陰、9~11月はしっかり日光に当てましょう。名古屋の8月は過酷ですので、半日陰で育てましょう。

これだけ覚えておけば秋までしっかり楽しめますよ。少しのコツをつかむだけで5か月近く、毎年楽しむことができます。ぜひ楽しんでいただきたい6月のオススメの花です。

